

様式第3号（第9条関係）

まちなか会議等報告書

まちなか会議等の議題	「地域活性化について」 ～次世代人材の育成～
開催日時	令和7年11月22日（土） 午前10時から午前11時40分まで
開催会場	長岡コミュニティセンター
要請団体名等	瑞穂町議会 広報広聴委員会
参加人数	5名（議員、事務局を除く）
出席議員	チームリーダー：原 司会：大和 総括：下澤 ファシリテーター：森 書記：川島 サポーター：榎本、高橋
実施内容等	自治会役員、産業関係など後継者問題が社会的問題になっている。今回、長岡地区ではこの問題について住民の意見や考えを伺い、課題解決に向けた政策形成に寄与することを目的とした。 実施方法については、グループワークとして1班を構成し、ワークショップを行った。その後、総評を行った。
実施に対するまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会役員の負担が大きく、役員のなり手を探すのが大変。それ以前に町内会に加入、継続が困難。 ・オンライン会議やLINEなどを活用して役員の負担を減らす工夫が必要。 ・学校と連携しイベント参加者を増やし加入継続を図る。などの声が聞かれた。 <p>町内会が求めたい内容と町の支援体制にギャップがあることが確認できた。 ※主な意見については別紙参照</p>

令和8年1月23日

瑞穂町議会議長 小川 龍美 様

瑞穂町議会まちなか会議等実施要項第9条の規定に基づき提出します。

広報広聴委員会

委員長 下澤 章夫

まちなか会議での意見（長岡コミセン）

町内会が縮小傾向にあるが、課題・問題点は何か

町内会加入・継続関係（→加入しなければ後継者とはならない）

- ・町内会に入るメリットがない。
- ・子ども達が大人になると町から出て行ってしまう傾向がある。
- ・個人情報以前より厳しく、町内会長でも未加入者のことが分からない。（加入促進困難）

役員関係

- ・市街化区域は新興住宅地もあるが、市街化調整区域ではそうした動きはほぼ無く、新たに役員を受けの方を探すのは難しい。
- ・納涼祭などの地域イベントに向けて役員は、最低 3 日は確保しなければならいので、現役世代が役員を担うのは難しい。
- ・町内会役員を引き受けている人の多くは、他の役も受けている。様々な役が特定の個人に集中している傾向にある。そうした中で、さらに町内会の役員までもお願いするのは申し訳ない。

イベント等

- ・イベントに他の町内の人も巻き込んで繋がりを作るきっかけにしたらという意見もある一方で、それに対して否定的な意見もある。
- ・町営住宅では町内会費は共益費で電気代等として支出され、イベントを独自で企画・実行するのは財政的に難しい。

対策として行っている、取り組もうとしている計画や目標について

役員関係 (負担軽減)

- ・オンライン会議やLINEなどを活用して役員の負担を減らす工夫が必要。
- ・生活していて困った時に先達からアドバイスをもらい解決すると、今度は自分が誰かの役に立ちたいと思い実行するという、地域の中で自らの存在意義が感じられる流れを作ることが必要。
- ・他の自治体では連合会はOBが引き受けるなど、現役世代が役員を引き受けやすい環境を作っている。

イベント等 (参加者を増やし加入継続)

- ・第二小学校にお願いをして、子ども達の納涼祭への参加を促してもらった。子ども達と高齢者が踊りを通してつながり、それなりの成果があったと思う。この流れを続けたい。

その他の意見

- ・町内会に加入しない理由を調査していない。
- ・町内会の抱えている問題と地域の抱えている状況が異なるので、解決策は同じではない。
- ・東京都の補助金は比較的に利用しやすいが、町の地域づくり補助金は少しハードルが高い。
- ・瑞穂町が魅力的な町になれば、交流人口が増え、活気が生まれ、結果的に各地域が活性化すると思う。